



四条通り南東角には有名な一力亭があり、通り沿いには町家が並び、京都らしい風情ある景観となっています。



### 萬福寺

萬福寺は、禅宗黄檗宗の総本山です。建物は、1661年隠元が開山した中国の禅寺の様式で、中国精進料理の「普茶料理」も楽しめます。



### 宇治川 鵜飼

宇治橋は、646年に奈良元興寺の僧道登によって架橋されたとされ、京都・奈良間の交通の要衝で、戦国時代まで幾多の戦乱が繰り返されてきました。夏の鵜飼も風物詩となっています。宇治川沿いの道を、歴史の息吹を感じながら走るサイクリングは爽快です。



### 平等院

ときの権力者、関白藤原道長が左大臣源重信の夫人から譲り受けた別業をその子頼通が、永承7年(1052)にこれを仏寺に改め、平等院としました。永承7年は末法初年に当たるとされ、末法思想が貴族や僧侶らの心をとらえ、極楽往生を願う浄土信仰が社会の各層に広く流行していました。その翌年の天喜元年(1053)には平等院の阿弥陀堂(鳳凰堂)が落慶し、堂内には、平安時代の最高の仏師定朝によって制作された丈六の阿弥陀如来坐像が安置され、華やかさを極めたとされています。約1000年前に建立された建造物や仏像が今に伝えられ、世界遺産にも登録されています。



### 三室戸寺

西国三十三所第十番札所の「三室戸寺」は、花の寺としても知られており四季を通じて花が楽しめます。



### 宇治上神社

宇治川の東岸の朝日山の山麓には、宇治上神社が鎮座しています。拝殿・本殿とも国宝に指定され、現存する日本最古の神社建築です。また、境内にある湧き水は桐原水と呼ばれ、宇治七名水の一つとされています。

### ピックアップ情報

平安絵巻とお茶のまち宇治市は、世界遺産「平等院」「宇治上神社」など藤原氏の栄華を伝える豊かな歴史文化遺産に恵まれ、宇治川は山々の重なりが美しく平安貴族にも好まれた景勝地です。一帯は文化庁の重要な文化的景観に指定されています。



### 表参道商店街

宇治といえばお茶どころ。街にはお茶屋さん並び、お茶のスイーツも迷うほどあり、市営茶室「対鳳庵」や、お茶の美味しい淹れ方や抹茶挽き体験ができる場所もあります。



### 対鳳庵



### 京都府

右京区 中京区 下京区 南区

### 奈良市

天理 明日香 高取町 大淀町

### 奈良県

# 平安絵巻と お茶のまち宇治を訪ねる



宇治茶スイーツ



### 平城宮跡

奈良時代の都「平城京」の遺跡。第一次大極殿や朱雀門が復原され、広大な敷地の中で当時の姿を思い描くことができます。



### 元興寺 [国宝元興寺極楽堂]

蘇我馬子が飛鳥に建立した法興寺が前身。現在は、極楽坊本堂と禅室を残すのみとなっていますが、「ならまち」と呼ばれるほぼ全域が元興寺の旧境内であったとされます。



### ならまち

元興寺の旧境内を中心とした地域は「ならまち」と呼ばれています。狭い路地に情緒あふれる町家が建ち並んでいます。町家を利用した飲食店や雑貨店、公共文化施設などが数多く点在する人気スポットです。



### 興福寺

藤原氏の氏寺として藤原氏と共に栄えました。阿修羅像をはじめとする、仏教彫刻類は天平時代や鎌倉時代の名品を数多く保存しています。



### 東大寺

天平15年(743)に聖武天皇の発願により、国全体をまもる寺として造営されました。751年には金堂(大仏殿)が完成し、翌年には盛大な大仏開眼供養が行われました。伽藍の造営は国力を挙げた大事業でした。



東大寺二月堂からの夕景



### ピックアップ情報

シルクロードの終着点・奈良の都では、唐の文化の影響が強く、仏教色の濃い天平文化が開花しました。今はのどかな風景の広がる奈良ですが、1300年前には政治・経済・文化の中心として栄えました。遥か昔に思いを馳せると、古の人の息づかいが聞こえてくるような、どこか懐かしい風景に出会えるかもしれません。

# いにしへの寧楽を訪ねる



### 西大寺

南都七大寺の一つ。765年、称徳天皇が鎮護国家と平和祈願のため7尺の金銅四天王の造立を発願されたのが寺の起源。直径30センチ以上、重さ6〜7キログラムの大茶碗でお茶を立てて参拝客にふるまわれる大茶盛で有名です。大茶盛は1・4・10月に行われています。



### 春日大社

和銅3年(710)藤原不比等が平城遷都の際、藤原氏の氏神を祀ったのが起こりとされ、神護景雲2年(768)今の地に社殿を造営。平安時代に現在のよう規模を整えました。皇族や貴族の春日詣もさかんとり、また中世以降になると武家や庶民にも信仰がひろまり、全国各地に御分社がつくられるまでになりました。

写真：奈良市観光協会